

The

健康応援隊!

子宮頸がん

について

子宮は女性にしかない特別な臓器のひとつです。この子宮の入り口にできるがんを子宮頸がんと言います。

子宮頸がんは、年間15,000人の女性が発症していると報告され、20から30歳代で増えています。初期には自覚症状がないため自分で気がつくことはありません。

子宮頸がんの原因は、ヒトパピローマウイルス(HPV)というウイルス感染であることが明らかになっています。HPVには100種類以上あり、そのうち約15種類が子宮頸がんの原因となる発がん性HPVといわれています。その中でもHPV16型とHPV18型の2種類は、子宮頸がん患者の約60%からみつかっています。

HPVは、性交渉により感染しますが、特別な人だけが感染するのではなく、成人女性が一生のうち一度は感染するごくありふれたウイルスです。発がん性HPVに感染したとしても、多くの場合、

感染は一時的で、自然に排除されます。しかし、感染が長引いた場合、一部は細胞が変化していき、数年から数十年をかけて、子宮頸がんを発症する危険性があります。

子宮頸がんを予防するワクチンが2009年12月から使用できるようになりました。このワクチンは、HPV16型とHPV18型の感染をほぼ100%防ぐことができ、子宮頸がんの全体の7割を予防することが期待できます。

しかし、それ以外の発がん性HPVの感染を予防はできません。また、接種前にすでに感染しているウイルスを排除したり、がんを発症している方には、予防効果はありません。接種しても20歳になつたら定期的な子宮頸がん検診が必要です。

子宮頸がんは、予防・早期発見が可能な病気です。女性の大切な一生を、後遺症を残したり、命を落としたりすることがないようにしたいものです。

(健康福祉課 保健師)



学校コーナー

4年生 【しいたけ栽培】体験学習!

五霞東小学校

5月9日に、森林・林業体験促進事業の一環として、4年生が、しいたけ栽培体験学習に取り組みました。当日は、茨城県東西農林事務所・林業振興課(筑西林業指導所)の方々の懇切丁寧なご指導により、原木に電動ドリルで穴をあけ、その部分に、しいたけの菌を一人一人植え込みました。児童は、初めての体験にわくわくどきどきしながら、熱心に取り組んでいました。

《児童の感想》

しいたけ体験をして

4年 小口 果恵

しいたけ体験をしました。くぬぎとこならという2しゆるいの木に、あなを開けました。ドリルを使うとき、ちよつとこわかったです。でもじょうずにできました。次に、しいたけをあなの中にいれました。



そのきは、しめっていました。見た目は、ちよつとキャラメルみたいな感じでした。金づちであなの中にいれたきんをうつたら、汁が出てきてびっくりしました。大事に育てて来年の秋ごろには、しゅうかくをしておいしく食べたいです。

4年 栗原 蒼

しいたけさいばい体験は、楽しかったです。わたしは、しいたけが、すきではないけど、自分たちで育てたいたけを食べてみようと思います。わたしは、シウマイがすきなので、お母さんにシウマイの中につけて食べてみたいです。

人口と世帯 (6月1日現在)	
総人口	9,439人 (-11)
男	4,727人 (-10)
女	4,712人 (-1)
世帯数	3,043世帯 (±0)
()内は前月比	

7月の納税		納期限: 8月1日(月)です	
固定資産税	2 期	町民税務課	税務 G 内線 252
国民健康保険税	1 期	町民税務課	税務 G 内線 253
後期高齢者医療保険料	1 期	町民税務課	税務 G 内線 251
介護保険料	1 期	健康福祉課	高齢者支援 G 内線 239
学校給食費	4 期	教育委員会	学校教育 G (84)1462
保育料	7 月分	健康福祉課	社会福祉 G 内線 237

ご意見・ご要望をお待ちしています。

あて先
町長(直通)
☎(84)1550
総務課広報担当
☎(84)1111(内線227)